

第403回南国市議会定例会会議録

第5日 平成30年6月19日 火曜日

出席議員

1番 神崎隆代	2番 植田豊
3番 浜田憲雄	4番 山中良成
5番 岩松永治	6番 西川潔
7番 土居恒夫	8番 高木正平
9番 有沢芳郎	10番 中山研心
11番 前田学浩	12番 村田敦子
13番 岡崎純男	14番 小笠原治幸
15番 野村新作	16番 浜田和子
17番 浜田勉	18番 土居篤男
19番 福田佐和子	20番 西岡照夫
21番 今西忠良	

—*—

欠席議員

なし

—*—

出席要求による出席者

市長 平山耕三	副市長 村田功
参事兼総務課長兼 選挙管理委員会事務局長 西山明彦	参事兼財政課長 渡部靖
参事兼企画課長 松木和哉	情報政策課長 原康司
税務課長 高野正和	市民課長 崎山雅子
子育て支援課長 田内理香	長寿支援課長 島本佳枝
保健福祉センター 所長 高橋元和	環境課長 谷合成章
農林水産課長 古田修章	商工観光課長 長野洋高
建設課長 西川博由	地籍調査課長 横山聖二
都市整備課長 若枝実	上下水道局長 橋詰徳幸
会計管理者兼 参事兼会計課長 橋田裕子	福祉事務所長 岩原富美

教 育 長	大 野 吉 彦	教 育 次 長 兼 伊 藤 和 幸
生涯学習 課 長	中 村 俊 一	学 校 教 育 委 員 長 細 川 千 秋
農 業 委 員 会 長	土 橋 愛	監 事 兼 防 長 小 松 和 英
事 務 局 長		消 防 長

-----*

議会事務局職員出席者

事 務 局 長	秋 田 節 夫	次 長	公 文 知 子
書 記	門 脇 智 哉		

-----*

議事日程

平成30年 6 月 19 日 火曜日 午前10時開議

第 1 一般質問

-----*

本日の会議に付した事件

日程第 1 一般質問

-----*

午前10時 開議

○議長（岡崎純男） これより本日の会議を開きます。

-----*

一般質問

○議長（岡崎純男） 日程により一般質問を行います。

順次質問を許します。5 番岩松永治議員。

〔5 番 岩松永治議員発言席〕

○5 番（岩松永治） おはようございます。順次質問に移らさせていただきます。

初めに、人口減少、とりわけ少子化に対する取り組みについてお伺いします。

御案内のとおり、我が国は世界に類を見ない人口減少社会に突入しており、最も高齢化が進んだ先進国であります。25%を超え、今や人口の3割が65歳以上という超高齢化時代を迎え、医療・福祉・介護のサービス保障のあり方にも改革が必要になっています。と同時に、少子化への対策も急がなければならない重要なテーマであり、喫緊の課題だと考えます。

そこで、まず平山市長にお伺いしますが、南国市の人口減少とりわけ少子化についての現状

について、どのように認識されておられるのか、御所見をお伺いします。

○議長（岡崎純男） 市長。

○市長（平山耕三） おはようございます。岩松議員の御質問にお答えいたします。

国立社会保障・人口問題研究所の2018年推計によりますと、南国市の人口は、2015年の4万7,982人から30年後の2045年には3万4,631人まで27.8%減少し、特に0歳から14歳までの年少人口は30年で38.1%減少すると推計されています。本市の小学校児童数の推移を見ますと、平成10年度の2,911人から直近の平成30年度では2,350人まで、20年間で561人減少しており、改めて人口減少、少子化の現状について認識し危機感を抱いているところでございます。以上でございます。

○議長（岡崎純男） 岩松議員。

○5番（岩松永治） この人口減少や少子化への取り組みは、申すまでもなく30年後、50年後といった長期的な視野に立ったまちづくり、すなわち戦略が必要と考えます。これまでも、総合計画や都市計画マスタープラン、まち・ひと・しごと創生総合戦略などが策定され方向は示されていますが、市長として今後どのような南国市の将来像を描いておられるのか、市長の率直な思いをお聞かせいただきたいと思えます。

○議長（岡崎純男） 市長。

○市長（平山耕三） 南国市まち・ひと・しごと創生総合戦略の人口ビジョンにおきまして、本市が目指す方向性として示しておりますのは、若者が希望を持ち、誰もが安心して暮らすことのできるまちであります。人口減少を克服し活力あるまちづくりを進めるためには、安定して働くことのできる場をつくり新しい人の流れを呼び起こすと同時に、若者が安心して希望する時期に結婚でき妊娠、出産して子育てできる環境をつくることにあります。以上でございます。

○議長（岡崎純男） 岩松議員。

○5番（岩松永治） 今年度から、市長の公約の一つでもある第2子の保育料無料化が実施されました。このことは、子育て中の若い世代にとって大変ありがたく喜ばしいことではあります。長期的な視野に立った少子化対策を考える上では、さらなる取り組みの充実が必要と考えます。

そこで、先ほど御答弁いただいた市長の描く南国市の将来像を実現するために、少子化対策、人口減少に歯どめをかける対策として、どのような取り組みを考えておられるのか、市長にお伺いします。

○議長（岡崎純男） 市長。

○市長（平山耕三） 先ほど申しました安定して働くことのできる場をつくるという点につきましては、本市に定住していただくためには、その生活基盤として雇用の場を確保し安定した収入を得て生活ができる、そうした環境整備が必要です。安定した収入という点では、後の結婚、出産にも影響を与えます。これにつきましては、現在、整備を進めようとしております南国日章工業団地の早期完成、早期分譲を目指しております。

また、若い世代からニーズがあります事務系IT企業の誘致につきましては、南国オフィスパークセンターの増築が進んでおり、一定の雇用が生まれるものと考えております。

農業では、国営ほ場整備事業の実施により農業生産性の向上と担い手の育成を図り、また施設園芸におきましても、次世代技術の導入により高品質、高収量の実現に結びつけていきたいと考えております。

新しい人の流れをつくるにつきましては、雇用の確保とあわせて住宅対策を考える必要があります。4月からは、県から権限移譲を受けて、市街化調整区域の既存集落内では従前からの許可要件が一部緩和され、戸建て住宅が建てやすい環境が整いました。また、空き家の活用につきましても、規制が緩和されたところです。これを機に、Uターンを含む移住施策についても加速化し、また集落の維持、定住を進めてまいります。

最後に、若者の結婚、妊娠、出産、子育ての希望をかなえるにつきましては、子育て支援策としまして、昨年度からはファミリーサポートセンターの開設、また本年度からは第2子の保育施設の利用者負担額の減免を行っているところでございます。今後も、0歳児保育の充実など、より一層の子育て世代の負担軽減に力を入れていきたいと考えております。

結婚の支援につきましては、昨年度から結婚に伴う新生活の経済支援を行っております。また、出会いや結婚への支援を希望する独身者に対しましては、県や近隣市町村などと連携しながら、出会いの機会を広げる支援を行っていききたいと考えております。

いずれにしましても、人口減少、少子化という大きな波は、一市町村の力だけでは打破できるものではありません。国、県の施策による後押しや、育児休業の取得やワーク・ライフ・バランスなど企業の協力も必要となります。本市としましても、ただ手をこまねいているだけではなく、この人口減少の波に挑戦してまいりたいと考えております。以上でございます。

○議長（岡崎純男） 岩松議員。

○5番（岩松永治） 平山市長には、人口減少について、まち・ひと・しごと創生総合戦略などを絡めて御答弁をいただきました。

市長、済みません、もう少しマイクから離して話していただいたら聞こえやすいと思いますので、よろしくお願いいたします。

次に、保育、教育についてお伺いします。

先ほどは、少子化への対策をお伺いしましたが、この南国市に生まれた子供たちが大人になっても南国市で住み続けてもらうための施策、すなわち保育や教育の環境をしっかりと整えることが重要です。乳幼児期や幼少期に経験した出来事や過ごした環境は、後に成長しみずからの道を切り開く際には、大きな影響を及ぼすと言っても過言ではないと思います。

そこで、これまでも本市の教育の柱となる南国市教育振興基本計画をもとに、保幼小の連携や小中連携学力向上推進プロジェクト事業等々の各種施策が行われてまいりましたが、今日まで行われてきた本市の保育、教育を振り返り、取り組みの成果をどのように捉えられておるのか、市長、教育長にそれぞれ御所見をお伺いします。

○議長（岡崎純男） 市長。

○市長（平山耕三） 南国市総合教育会議の中でも感じているところがございますが、保育、教育行政の成果を一言で申し上げますと、校種間の連携が進んだことが大きな評価ではないかと考えているところであります。

まず1点目は、保・幼・小・中の連携による教育の成果です。

教育研究所が所管しております南国市教育研究会の中の研究組織として、幼児教育研究会や保幼小中連携協議会などの全市的な会のほか、各小学校単位での保幼小連絡会など、保育、教育の活発な横と縦の連携により、先生方の実践力の向上とともに、子供たちのスムーズな接続がより確実に実を結び始めたものと考えております。

2点目は、地域との連携による教育の成果です。

コミュニティスクールや学校支援地域本部事業の拡充、さらには実践的防災教育推進事業の指定や食育の取り組みなど、それぞれの学校の目標や地域の特色に応じて、学校を拠点とした地域ぐるみによる教育の推進が確実に進んでいるのではないかと評価しているところでございます。以上でございます。

○議長（岡崎純男） 教育長。

○教育長（大野吉彦） 先ほどの市長答弁を受けまして、教育委員会としましても成果として評価できる2点について御報告をいたします。

1点目は、去る4月17日に行われました全国学力・学習状況調査におきまして、まだ自校採点の段階でございますが、小中学校とも算数、数学、国語、理科におきまして、南国市の平均

正答率が上昇していることが確認できました。これは、ひとえにそれぞれの小中学校の地道な取り組みの成果であることはもちろんでございますが、各保育所、保育園、幼稚園、学校の連携による取り組みの積み重ねの成果だと認識しているところでございます。

また2点目は、チーム学校の推進でございます。

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、合理的配慮学習支援員、小1サポーター、スクールナース、不登校等学習支援員、外国語活動支援員、特別教育支援員、放課後学習支援員、図書館支援員など、児童生徒のニーズはもちろんのこと、それぞれの学校の特色や課題に応じた人的配置を進めた結果、児童生徒一人一人に対するきめ細かな支援が実現するとともに、多種多様な人材による多角的な視点を取り入れた組織的な学校づくりが進んでまいりました。複雑化、多様化するさまざまな問題や課題に対応するためにも、これからの学校は、まさにチーム学校としての組織的機能が求められるものと考えております。

南国市教育委員会としましては、それぞれの学校の取り組みを適切に評価するとともに、より一層連携を密にして、管理職、教職員を激励しながら、さらに充実した取り組みへと発展することができますよう支援を続けてまいりたいと考えております。以上でございます。

○議長（岡崎純男） 岩松議員。

○5番（岩松永治） 子供たちを取り巻く環境や社会ニーズの変化、また時代の要請により課題も刻々と変化しています。この時代に柔軟に対応していくため、また基本理念である「輝くあすへの人づくり」の実現のために今後取り組むべき課題はどのようなものなのか、どのように認識されているのか、市長、教育長にそれぞれお伺いします。

○議長（岡崎純男） 市長。

○市長（平山耕三） 保育、教育に関する課題につきましては、保育、学校の働き方改革をどう進めていくかという点が挙げられると思います。限られた時間の中で、授業やその準備にかかる時間、先生方の専門性を高めるための研修時間の確保、児童生徒に向き合うための時間の確保など、特に小中学校では、道徳の教科化や英語科の新設など学習指導要領の改訂に伴う労働時間の増大は免れないことと思います。また、中学校における運動部活動の問題も、南国市としてどうガイドラインを作成するのか難しいところだと考えております。以上でございます。

○議長（岡崎純男） 教育長。

○教育長（大野吉彦） 皆様御承知のとおり、南国市教育委員会では、先ほど今、岩松議員さんも申されましたように、南国市教育振興基本計画に掲げていますように、21世紀を担う子供たちの生きる力を育む保育、教育の推進の核として、学力向上と人権教育を基盤とした生徒指

導を両輪とした保幼小中連携を進めているところでございます。

先ほど、学習面では確実に成果が出ていると申し上げましたが、生徒指導面におきましては長期欠席等不登校児童生徒への対応を初め、要保護児童対策地域協議会においてケース管理が必要な幼児児童生徒は少なくなく、依然緊張を要する対応ケースがあるのが現状でございます。保幼小中の連携による家庭環境や育ちの把握を初め関係機関との情報共有、連携をより一層密にしなが、継続した見守りと支援の徹底に努めてまいりたいと考えております。以上でございます。

○議長（岡崎純男） 岩松議員。

○5番（岩松永治） 教育に関連しますので、質問させていただきます。

昨日、大阪で最大震度6弱の地震が発生し、小学校のブロック塀の倒壊により小学生が亡くなられました。南国市でも同様のことが心配されますが、大阪での地震を受け何らかの対処をされたのかを教育次長にお伺いします。

○議長（岡崎純男） 教育次長。

○教育次長兼学校教育課長（伊藤和幸） 昨日の地震を受けまして、学校教育課では緊急に各学校に連絡をとりまして、市内小中学校の再調査を行いました。報道にもございました高さ2.2メートルという国の基準を超しておりますブロック塀のある学校はございませんでしたが、倒壊のおそれのあるブロック塀が既存いたします5校につきまして、登下校の指導を徹底するとともに、塀のそばを通らないという安全対策を学校長に指導したところでございます。以上でございます。

○議長（岡崎純男） 岩松議員。

○5番（岩松永治） 早速、素早い対応をしていただきましてありがとうございます。

しかし、今後も、保育も含めてになりますが、小学校中学校では同様のことが心配もされますし、再点検を含めまして、今後どのような対応をしていかれるのかをお伺いいたします。

○議長（岡崎純男） 教育次長。

○教育次長兼学校教育課長（伊藤和幸） 今後の対応でございますが、まず久礼田小学校のプールの一部を囲んでおりますブロック塀の改修作業が最優先だとこちらは考えておりまして、既に設計も終わっておりますので、補正等で予算立てを行いまして本年度中に改修作業等の取り組みを行いたいと思っております。また、他の4小中学校におきましても、優先順位を決めまして順次安全対策を講じてまいりたいと考えております。よろしくお伺いいたします。

○議長（岡崎純男） 岩松議員。

○5番（岩松永治） ありがとうございます。南国市民も昨日の地震を受けて心配される方も多くいらっしゃったと思いますので、今後もしっかりとした対応をしていただきますようよろしく願いいたします。

先ほど、市長、教育長には、市の保育、教育を振り返りこれまでの取り組みの成果と課題、また今後取り組むべき課題についてもそれぞれ御答弁をいただきました。

それでは、この後の質問に関連しますので、最初にお伺いします。

南国市の保育サービスを充実させるためには、保育士の確保は必須です。しかし、日々の業務負担が大きいことから、保育士として働く人が減るだけでなく保育士として働くこと自体が敬遠され、保育士の確保が難しくなっています。そこで、国は、それらを含めた子育ての課題を解決していくための支援策として子育て安心プランを策定しています。その中のメニューの一つに、保育士の業務負担軽減のための支援もあります。保育士の業務負担を軽減することは、保育サービスの向上につながり保育士確保にも効果が高いと考えますが、子育て安心プランの活用について子育て支援課長にお伺いします。

○議長（岡崎純男） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（田内理香） 岩松議員さんの御質問にお答えいたします。

子育て安心プランは、待機児童解消に必要な受け皿確保、女性の就業率80%への引き上げに対応できる受け皿の整備施策でございます。南国市におきましては、年度当初には待機児童はおりませんが、現在保育士確保の厳しい折、さらに今後確保が難しい状況が予想されます。そのために、保育士の負担軽減を図るために子育て安心プランの一つの施策である、保育所などで保育に関する計画、記録などの業務をICT化の活用によって進めていきたいと現在のところ考えております。以上でございます。

○議長（岡崎純男） 岩松議員。

○5番（岩松永治） また、保育士の業務負担軽減のための支援だけではなく、子育て安心プランには多くの支援パッケージが示されていますが、これらの活用について子育て支援課長の御所見をお伺いします。

○議長（岡崎純男） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（田内理香） そのほか、保育所などでの保育士の処遇改善につきましては実施しております。また、県が実施しております保育人材確保については、県とともに啓発、周知に取り組んでおるところでございますが、さらに取り組み強化をしてまいりたいと考えております。以上でございます。

○議長（岡崎純男） 岩松議員。

○5番（岩松永治） 次に、就学前の保育教育についてお聞きします。

平成27年から、幼児期の学校教育や保育、地域の子育て支援の量の拡充や質の向上を進める子ども・子育て支援新制度がスタートしました。この新制度が開始され、本市にも子ども・子育て会議が設置されています。

まず初めに、子ども・子育て会議を設置した目的を子育て支援課長にお伺いします。

○議長（岡崎純男） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（田内理香） 子ども・子育て会議は、平成24年に制定された子ども・子育て支援法により市町村への設置が規定されたことにより、南国市におきましては、平成25年度に条例に基づいて設置をいたしております。

子ども・子育て会議は、子供の保護者、関係団体などから成る委員で構成をされており、子ども・子育て支援事業計画や子供、子育てに関する総合的な推進などに関して、委員の皆様より御意見をいただく会議となっております。以上でございます。

○議長（岡崎純男） 岩松議員。

○5番（岩松永治） 先ほど御答弁いただいた目的を達成するために、この会議ではこれまでにどのような議題で会議が開催されてきたのかを子育て支援課長にお伺いします。

○議長（岡崎純男） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（田内理香） 南国市子ども・子育て会議では、平成25年、26年度には、ニーズ調査をもとに子ども・子育て支援事業計画の策定や子ども・子育て支援新制度について審議をいたしました。平成27年度よりは、26年度に策定をしました事業計画の点検、評価、見直しを行うため、子育て支援策の実施状況について調査、審議を行っております。

○議長（岡崎純男） 岩松議員。

○5番（岩松永治） また、これまでの会議でどのような意見が出されてきたのかを子育て支援課長にお伺いします。

○議長（岡崎純男） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（田内理香） 委員の皆様には、それぞれの立場から、子育て支援のサービスの拡充や子育て支援の質の向上などについて、さまざまな御意見をいただいております。

○議長（岡崎純男） 岩松議員。

○5番（岩松永治） これまでの会議での意見は、南国市の保育、教育施策にどのように反映されてきたのでしょうか。具体例を挙げるなど、市民にわかりやすい御答弁をお願いいたします。

す。

○議長（岡崎純男） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（田内理香） 委員の皆様よりいただいた御意見をもとに、事業計画の策定を行い、新制度による子育て支援を進めております。具体例とのことですが、地域の子育て支援の充実として、放課後児童クラブ施設整備の推進、また、ファミリーサポートセンター事業や、子育て支援の相談、援助、情報提供などを行う利用者支援事業を開始し、サービスの量の拡大を図りました。そして、まだ実現とはなっておりませんが、公立保育所でのゼロ歳児保育の実施を進めてまいりたいと考えております。質の向上におきましては、南国市幼児教育研究会などにおきまして保幼小連携の推進に取り組み、また保育所向けの保育課程や改定保育指針についての研修会開催などを実施し、保育士の質の向上に努めてまいっております。以上でございます。

○議長（岡崎純男） 岩松議員。

○5番（岩松永治） それでは、今年度の開催スケジュール及び会議の内容について、子育て支援課長にお伺いします。

○議長（岡崎純男） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（田内理香） 今年度の子ども・子育て会議においては、現在のところ平成31年2月開催を計画しております。平成32年度からの第2期計画に向け、平成31年度には第2期南国市子ども・子育て支援事業計画を策定いたします。策定に当たりましては、今年度、子育て中の親や子供の生活実態、意見、要望等を把握し、策定の基礎資料とする目的で未就学児童、小学生児童の保護者の方に対しましてニーズ調査を実施いたします。そのニーズ調査の結果をもとに、今年度開催をいたします子ども・子育て会議では、第2期事業計画についての審議及び現在の計画の進捗状況、評価、見直しを行っていききたいと現在のところ計画をしております。

○議長（岡崎純男） 岩松議員。

○5番（岩松永治） この数年は年に一度の開催で、その時期は毎年、年度末近くとなっております。この開催時期と回数で会議の役割が果たせるのでしょうか。子育て支援課長にお伺いします。

○議長（岡崎純男） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（田内理香） 子ども・子育て支援事業計画を策定する年度におきましては複数の開催が必要となりますが、その他の年度におきましては、今までのところ、年度の計画

の進捗状況、評価、見直しを行うため、年度の終わりに会議を開催し御審議をしていただいております。以上でございます。

○議長（岡崎純男） 岩松議員。

○5番（岩松永治） 私は、本市の子ども・子育て会議が年に一度の開催となっているため、形式的な設置になっているのではないかと懸念しています。会議での意見を施策に反映していくためには、PDCAつまり計画を立て実行し評価し改善していく、これが大切です。最低でも年に2回の開催が必要と考えますが、子育て支援課長の御所見をお伺いします。

○議長（岡崎純男） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（田内理香） 子ども・子育て会議が、子供、子育て支援について委員の皆様よりさまざまな立場で御意見をいただける貴重な場となっていることなどを考えますと、子供、子育て支援のさらなる推進を図る上では検討すべき点だと思われまふ。貴重な御意見、ありがとうございました。

○議長（岡崎純男） 岩松議員。

○5番（岩松永治） 検討すべき点ということでした。子ども・子育て会議が意見をいただける貴重な場との認識があるのでしたら、年に1回では少ないと思います。多ければいいということでもありませんが、会の意義も含めてしっかりとした検討をお願いします。

そして、検討するという答弁に関して申し上げます。

議会答弁で、執行部から、検討するという答弁は少なからずありますし、案件によってはそういう答弁はいたし方ありません。そして、質問が終わった直後から、課内を含め全庁的に御検討いただいていることと思います。しかし、これまで検討した結果が出ているにもかかわらず、報告をいただいたことはございません。議会で検討すると答弁した以上、その検討した結果を忘れずに御報告していただくように、全所属長に強く要望しておきます。

子ども・子育て会議は、それぞれの専門分野の委員さんに集まっていただき、質の高い議論がされてきました。その集大成の一つとも言えるのが、子ども・子育て支援事業計画の策定です。これまでの議事録を全て拝見いたしました。委員の皆さんには、それぞれの立場から、本市の子供、子育ての支援のあり方について本当に熱心に御審議いただいております。委員の皆様には心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

子ども・子育て支援事業計画は、簡単に策定されたわけではありません。これまでに何度も会議を開き、議論を繰り返し、苦勞してようやくできた計画です。その苦勞の過程は、議事録を見れば明らかです。しかし、残念なことに、南国市の子ども・子育て会議の次第、資料、議

事録は公開されていません。子ども・子育て会議の情報は全て公開し、情報を共有し、市民全員で考えていくことが、目的達成に向けて必要不可欠であると考えますが、子育て支援課長の御所見をお伺いします。

○議長（岡崎純男） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（田内理香） 現在のところ、岩松議員さんがおっしゃられるとおり、子ども・子育て会議による議事録や資料などをホームページなどでの公表ができておりません。子ども・子育て支援事業計画では、計画の推進のために子育て支援に関する情報提供及び周知を掲げております。今後は、他の子育て支援に関する情報利用方法などとともに、子ども・子育て会議の情報発信について、検討ではなく実施をしたいと思っております。以上でございます。

○議長（岡崎純男） 岩松議員。

○5番（岩松永治） ありがとうございます。実施していただけるということで、その公開方法についてもしっかりと情報政策課と検討して取り組んでいただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

次に、これまでもたびたび本議会で保育所、園の高台移転や建てかえなどの施設整備について議論されてきましたが、現在の進捗状況を子育て支援課長にお伺いします。

○議長（岡崎純男） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（田内理香） 津波浸水区域内の大湊保育所につきましては、同じ公立保育所であるあけぼの保育所との統合を現在進めております。また、老朽化が進んでおります長岡西部保育所の施設整備設計、工事におきましては、早い段階での実施を計画をしております。また、非構造部材耐震化につきましては、今年度より、あけぼの保育所で実施をいたします。なお、民間保育園である十市、稲生保育園の統廃合による高台などの移転につきましては、法人において、今年度移転候補地を決定し、早い段階で施設整備を進めていきたい意向を確認しております。以上でございます。

○議長（岡崎純男） 岩松議員。

○5番（岩松永治） また、高台移転や建てかえなどの施設整備について、子ども・子育て会議で議論されたことはないのでしょうか。子育て支援課長にお伺いします。

○議長（岡崎純男） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（田内理香） 津波対策、老朽化対策による保育施設整備に関しては、子ども・子育て会議においては議論をしてきてはおりません。以上でございます。

○議長（岡崎純男） 岩松議員。

○5番（岩松永治） 議論がされていないということですのでけれども、議論する内容に制約があるのでしょうか。お伺いします。

○議長（岡崎純男） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（田内理香） 特に、制約があるとは考えておりません。子ども・子育て支援事業計画における基本施策の一つとしまして、子供の安全の確保について掲げております。実際、委員さんの中からは、昨年度の会議において、施設の安全面についての協議も今後されたいという御意見もありましたことより、子ども・子育て会議にて安全・安心な施設提供について御意見をいただくことはできると考えております。

○議長（岡崎純男） 岩松議員。

○5番（岩松永治） それぞれの専門分野の委員さんが集まっているのですから、南国市の子供、子育てについてどんなことでも気軽に意見、情報交換できる場となることが大切ではないかと考えますが、今後の会議のあり方について子育て支援課長にお伺いします。

○議長（岡崎純男） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（田内理香） 子ども・子育て会議は、いろいろな立場での委員さんに集まっていたきまして、気軽に御意見がいただける場としていろんな御意見を今後もいただいていきたいと考えております。以上でございます。

○議長（岡崎純男） 岩松議員。

○5番（岩松永治） 議事録を読んで、保護者の方からの意見が少ないと感じました。専門的な話は理解が難しく、意見が述べにくくなると思います。もう少し保護者の方が率直に意見を言いやすくなるように、配慮をお願いします。

今後は、子育てをしている親を委員としてふやすことも必要と思います。委員になることには敬遠される方も多いと思いますので、公募してみてもいかがでしょうか。子育て支援課長にお伺いします。

○議長（岡崎純男） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（田内理香） 南国市保育所保育園保護者連合会や南国市PTA、南国市学童保育連絡協議会など各団体へ、子育て中の保護者の方を代表として意見が言えやすいように各団体より複数参加してもらうなど、また岩松議員さんから御提案がありました委員の公募についても検討すべきだと考えております。まさに今、子育てをされている方が気軽に御意見、情報交換ができるよう取り組んでいきたいと考えます。

○議長（岡崎純男） 岩松議員。

○5番（岩松永治） 公立、私立を問わず、施設の耐震改修や建てかえ等のさまざまなニーズがあると思われます。それらの情報を把握、共有し、今後の施設整備計画に生かすことも考えられますが、子育て支援課長の御所見をお伺いします。

○議長（岡崎純男） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（田内理香） 公立保育所及び民間保育園における津波対策、老朽化対策が必要な保育施設整備につきましては、各施設の状況を把握した上で、庁内保育施設整備検討会で、大きな財源が必要となる施設整備については他の部署との事業のすり合わせ、有利な国などの補助メニューの活用もあわせて協議をし、計画をしております。以上でございます。

○議長（岡崎純男） 岩松議員。

○5番（岩松永治） 子ども・子育て支援事業計画の基本理念には、笑顔輝く南国市、つながる広がる子育ての輪と大きく記載されています。この理念を実現する一つとして、施設整備が考えられます。施設整備を進め、国の補助メニューを有効活用するためには、市が策定する整備計画に基づくとされています。今後も進行が予想される少子化や施設の老朽化、保育所、幼稚園の適切な整備をより一層推進し、子供の育ちを第一とした質の高い教育、保育の提供と地域の子育て支援の充実を目指すためにも施設整備計画の策定が必要です。施設整備計画策定について、平山市長の御所見をお伺いします。

○議長（岡崎純男） 市長。

○市長（平山耕三） 岩松議員さんがおっしゃられるとおり、南国市の子ども・子育て支援事業計画の基本理念であります、笑顔輝く南国市、つながる広がる子育ての輪の実現には多くの事業、施策が必要となりますが、まずは安全・安心な子育て支援が提供できるよう、安全・安心な教育、保育施設の整備は不可欠と思われます。

今議会で、高木議員さんの御質問があった際にも、子育て支援課長がお答えしておりましたように、庁内での保育施設整備検討会にて津波対策、老朽化対策などによる保育施設整備について協議を行い、計画を立ててまいりました。すぐに進めていく施策としまして、大湊保育所のあけぼの保育所との統合、また長岡西部保育所の施設整備を実施したいと考えているところでございます。

今後、他の保育施設におきましても、子供たちを守るために安全・安心な施設整備を多数実施しなければなりません。そのためには、庁内保育施設整備検討会で検討した保育施設整備計画案をもとに、先ほどからおっしゃられております、例えば子ども・子育て会議などで御意見をいただくなど、そういった場の設定を協議してまいります。以上でございます。

○議長（岡崎純男） 岩松議員。

○5番（岩松永治） 市長の答弁では、市内保育施設整備検討会で検討した保育施設整備計画案をもとに、御審議いただく場の設定については協議していくとのことでした。市内保育施設整備検討会で検討はされていることは、十分承知しています。しかし、南国市がいち早く取り組まなくてはならない保育施設整備計画が策定されていないために、これまでの整備がおくれているのではありませんか。そして、検討会で検討するだけで後回しになっているのではありませんか。高台移転、老朽化施設整備もいつから始まるのでしょうか。地震発生を予測することは困難です。昨日も関西で最大震度6弱の地震が発生したばかりで、現在も余震が続いています。東日本大震災から7年が経過しましたが、施設整備は進んでいません。安全・安心な教育、保育施設整備が不可欠との認識があるのであれば、保育施設整備計画を一日も早く策定することが急務であると考えますが、平山市長の御所見をお伺いします。

○議長（岡崎純男） 市長。

○市長（平山耕三） 今までの保育施設の整備計画というのは、やはり基本的に老朽化が進んでいる施設から順番に行っているということは基本、原則でございます。そういった中で、保育施設の建てかえと、また非構造部材の耐震化を組み合わせで行っているところであります。それと同時に、津波浸水区域からの移転ということも考えておりまして、それらの順番につきましては、もちろん保育施設の移転ということになりますと、用地をどこにするかということも絡んでまいります。そこで、順番が変わってくることもございます。そういったことで、保育施設の整備計画、ちょっと流動的になる部分もございます。今まで、それがどういうふうな順番にすれば一番効果的だということは市内の検討会で話してきたところではございますが、これからはそのような検討会の結果も、途中でどう変わるにしても、子ども・子育て会議に出して御意見もいただくというふうにしていきたいと思っております。以上でございます。

○議長（岡崎純男） 岩松議員。

○5番（岩松永治） 子ども・子育て会議へ出していった意見を求めるということもありましたけれども、この保育の施設整備計画というのは、他市町村を見ましても大きくホームページにも載っています。この施設整備計画があることで次に早く進められるということもありますので、できるだけ計画を策定していただけますようお願いしておきます。

次に、現在、学校法人平成学園が、認定こども園ひまわり幼稚園の園舎の建てかえを検討しているとお聞きしています。まず、この園舎建てかえの計画について本市は知っておられるのか、市長にお伺いします。

○議長（岡崎純男） 市長。

○市長（平山耕三） 学校法人平成学園が認定こども園ひまわり幼稚園の施設整備計画を予定しているということは、私が市長就任、昨年8月6日でございますが、その後に平成学園理事長さん方が御挨拶に来ていただいた際に、そのような予定があるということを伺ったところでございます。以上でございます。

○議長（岡崎純男） 岩松議員。

○5番（岩松永治） この計画中の新園舎は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の会場にもなります新国立競技場を初め、県内では梶原町の公共施設などを手がけられた世界的にも著名な隈研吾氏が設計を担当されるとお聞きしています。新園舎が完成すれば、子供たちの保育、教育環境が整うということと同時に、先進的な建築物として国内外から多くの方が視察に来られることと思います。また、この施設に子供を預けたいという若い世代が本市に移住してくる可能性も大いに考えられます。つまり、今回の園舎の建てかえは単に施設整備という側面だけではなく、本市にとって大きな経済波及効果をもたらすものであると私は考えますが、本市として財政的な支援も含め、今後どのように支援していかれるのかを平山市長にお伺いします。

○議長（岡崎純男） 市長。

○市長（平山耕三） 平成学園の理事長さんなどからは、そのお話を伺ったときに隈研吾さんが設計をされる予定であるというようなことをお伺いもしておりますし、近代的な建物になるんではないかというふうな想像はするところでございます。しかしながら、その整備計画の詳細っていうところを伺っていないところがございます。その整備計画、財源がどのぐらい必要で、その財源内訳はどのようになっているか、そういった詳しい内容を担当課のほうにもお話いただきたいと以前私のほうが申し上げたこともございますが、実際その内容が今わかってないところでございます。その後、平成30年、ことしになっての1月でございますが、私はちょうど入院中であつた時期でありました。そのときに、平成学園さんから、ひまわり幼稚園の施設整備につきまして財政支援の相談があつたと聞いているところでございます。平成学園さんが予定されている時期におきましては、南国市においてはほかにも大型のハード事業整備が予定されていること、また老朽化も進んでおります長岡西部保育所施設整備も予定されていることなどによりまして、平成学園さんのお考えになっている時期での財政支援は難しいことを副市長より御説明をさせていただいたという経緯がございます。

しかしながら、その事業目的や財源内訳など詳細な計画案をもって再度お話をということで

あれば、平成学園さんより御説明をお聞きしたいと思います。以上でございます。

○議長（岡崎純男） 岩松議員。

○5番（岩松永治） 施設整備を進めるに当たり、国の有利な補助メニューの活用が考えられますが、その補助内容について子育て支援課長にお伺いします。

○議長（岡崎純男） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（田内理香） 認定こども園の施設整備に関しましては、幼稚園部分そして保育園部分によってそれぞれの補助金が違っておりましたが、教育部分での子供さんの人数そして保育園部分での子供さんの人数に対して、国そして市から持ち出す補助金率が変わってきます。以上でございます。

○議長（岡崎純男） 岩松議員。

○5番（岩松永治） 補助メニューがあることはわかっているんですけども、その補助率なんですけど、今、わかるようでしたらお答えいただきたいんですけど、いかがでしょうか。

○議長（岡崎純男） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（田内理香） 教育の部門そして保育の部門のそれぞれの施設整備に対する交付金の補助率ですが、国が2分の1、市が4分の1となっております。以上でございます。

○議長（岡崎純男） 岩松議員。

○5番（岩松永治） もう少し詳しくお聞きしたかったのですが、先ほど言いました子育て安心プランを絡めて国へ要望しますと、3分の2の補助があるということもお聞きしております。財政面では、かなり有利な補助があるということです。

先ほどの質問で、先進的な建築物として国内外から多くの方が視察に来られると言いましたが、その根拠は何かというと、新園舎は高知県が推進しているCLTを活用してのCLT建築物となるからです。CLT活用については、高知県を初め14の自治体首長が参加するCLTで地方創生を実現する首長連合の考えにもマッチしています。今、市長はどのように思われているでしょうか。高知県初のCLTを活用した新園舎が、この南国市に建築されようとしています。完成すれば保育、教育環境の充実はもちろん南国市の大きな宣伝となり、国内外からの多くの視察、それに伴う経済効果、さらには本市への移住など多くの可能性を秘めた壮大な計画です。高知県初でしかも南国市に建築する予定があると聞くと、わくわくしませんか。夢のある計画だと思いませんか。

再度、市長にお伺いします。園舎建てかえの財政的支援について御答弁をよろしくお願います。

○議長（岡崎純男） 市長。

○市長（平山耕三） 隈研吾さんの設計ということと、先ほどのCLTということも以前それを活用されるということも聞いたところでございます。高知県にとって、本当にありがたいことだと思っているところではございます。しかしながら、現在のところ、先ほども申しましたとおり、総額で幾ら、またその財源内訳が幾ら、事業目的がどういった目的で始まったことなのか、それら詳しい情報というものを私持っておりません。そういった情報を議員の皆様方にも御説明できる、そういう資料がそろいましたら、改めて考えたいと思います。以上でございます。

○議長（岡崎純男） 岩松議員。

○5番（岩松永治） 市長は、園舎建てかえの詳しい計画については御存じなかったようですが、私が先ほど述べたように著名な隈研吾氏が設計を担当し、CLT建築で先進的な建築物となること、そして高知県初の新園舎となる壮大で夢のある計画です。早急に関係者の皆さんとの面会を設定していただき、施設整備についての詳細の把握をしていただけますように、よろしくお願い申し上げます。

少子化の問題で、市長として今後どのような南国市の将来像を描いておられるかとお尋ねをしました。南国市は、最上位である第4次総合計画を柱とし、それぞれの施策が進められています。この総合計画は前市長のときに策定されていますが、総合計画に沿っていくことには変わりはないでしょう。計画はこれまでどおりであっても、市長は新しく変わりました。平山市長なりの強い思いがあつて市長になられたことと思います。南国市民が最も知りたいことは、平山市長の胸の中にある強い決意であり、10年、20年先を見据え、今、何に一番力を入れて取り組んでいかれるのかということです。平山市長、御答弁をよろしくお願いいたします。

○議長（岡崎純男） 市長。

○市長（平山耕三） 岩松議員のおっしゃるとおり、第4次総合計画、これは南国市の中心計画でございますので、これにのっとり進めていくということはもちろんでございます。ただ、私の中で特にどのように思っているかということでございますが、最初の質問にもございました冒頭で、今まで私も議会の中でお話ししたとおり、まずは少子高齢化、人口減少に歯どめをかけるためには、住む場所の確保また働く場所の確保は大切であると申し上げてきたところでございます。住む場所の確保につきましては、最初も申し上げたとおり、権限移譲によります規制緩和が行われたところでございます。また、働く場につきましては、日章の工業団地、オフィスパークセンターまた、ほ場整備と申し上げたところでございますが、そういったこと

が重要である背景には、やはり私は若い世代に魅力のある南国市でありたいと思うところです。若い皆さんが南国市に住み、子育てをしたいと思っていただける、そういう南国市にしたいということが中心でございます。そのためには、海洋堂もございましてし文化的施設もございまして。そういった条件整備をしていきたいということでございまして、今後10年、20年先を見越した政策ということになりますと、保育、教育また子育て支援、そういった人材育成にかかわる部分を大切にしていかなければならないと思っております。今後は、そういったところを重点的に取り組んでまいりたいと思っております。以上でございます。

○議長（岡崎純男） 岩松議員。

○5番（岩松永治） ありがとうございます。

きょうは、私が質問する内容に関心を持った市民の皆さんが傍聴に来ていただき、後方から心強い応援をいただきました。後の議事録で確認するのではなく、市長の生の声での答弁を聞きに来ていただいています。ネット配信では傍聴席まで映りませんが、傍聴席は満席です。ネット配信でも、多くの方に視聴いただいていることと思います。平山市長には、これだけ関心を持つ市民が多くいることを知っていただき、施設整備にも真摯に答えていただけますように心よりお願い申し上げます。

南国市総合計画の安全・安心のまちづくりは当然のことだと思います。施設整備もその一つです。南国市がどこにも負けない保育、教育に特化したまちづくりができれば、人を引きつける魅力となり、人が住み、子供が生まれ、いい保育、教育を受け大人になり、またその魅力に引かれ戻ってくるといったことも可能です。人口維持、軽減を最大目標とせず、人口増を目指し市民の声に耳を傾け、今後の活動に力を入れていきたいと思っております。

以上で今議会での私の質問を終わります。ありがとうございます。

○議長（岡崎純男） 20番西岡照夫議員。

〔20番 西岡照夫議員発言席〕

○20番（西岡照夫） おはようございます。

いよいよ今議会の最後の質問者となりました、20番西岡照夫でございます。

まず、質問に入る前に、昨日大阪北部で発生をいたしました震度6弱の震災によりまして、4名の方がお亡くなりになりました。心より御冥福をお祈りいたしますとともに、たくさんの方がけがをされ、また被災をされておられます。一日も早い復興がかないますようにお見舞いを申し上げますとともに、御祈念を申し上げます。早い復興を祈念をいたしております。

それでは、順次質問をさせていただきます。

私、初めて一問一答という形で質問をいたしますので、少し総括とは勝手の違った内容になるかと思いますが、執行部の皆さんの適切な御答弁をよろしく願いをいたします。

それでは、1点目でございます。

市道稲吉篠原線の見通しについてをお伺いいたします。

平成24年3月議会において、稲吉篠原線の市道認定が議決をされてから6年余り経過をしている今日でも、整備見通しが立っておりません。この市道の進捗に大きくかかわっているのが①イオン出店の展望であると思いますが、現在の状況はどのようになっているのかお伺いをいたします。

○議長（岡崎純男） 建設課長。

○建設課長（西川博由） 御質問にお答えいたします。イオンの開発計画につきましては、内容については当課で把握するものではございません。当課の道路計画につきましては、市道稲吉篠原線終点部の小学校前の部分につきまして今、法線の見直しをしておるところでございますが、それ以外の道路計画についての変更はございません。以上です。

○議長（岡崎純男） 西岡議員。

○20番（西岡照夫） 先ほど建設課長のほうから御答弁をいただきましたが、この路線の起点は篠原でございます。それから、終点が稲吉、大篠小学校の南側ということになっております。先ほど、法線は稲吉のほうから随時進めていかれるというような御答弁でしたが、このイオンの関係によりまして、随分の期間この市道がどの位置にできるのかということで地権者ともいろいろと協議の上、進めておられたと思いますが、このことによってこれが決まらなると、いわゆるイオンの出店がはっきりしないということで、この路線が進んでおりませんでした。そのことによって、当初計画した法線で進めるということになりますと、現在の南国市の消防署、その東側から大篠保育園の北側を通過して、それからカーブをして現在の中央公民館を横切って小学校の南側の市道に出てきて、それを拡幅して整備をするということだったと思いますが、この計画で間違いありませんか。

○議長（岡崎純男） 建設課長。

○建設課長（西川博由） そのとおりでございます。当初の計画は、消防署の前から現在の大篠小学校の南へ抜けてくるということで、そのまま変更はございません。

○議長（岡崎純男） 西岡議員。

○20番（西岡照夫） それでしたら、もう6年経過したこの期間中に、なぜもっと早く道路

計画を進めるべきではなかったかと思いますが、イオンとは先ほど余り関係ないような話をされましたが決してそうではないと思いますので。このイオンの出店について市長のほうにお伺いをしたいと思います、現在どういう状況でございますか。展望についてお聞かせをください。

○議長（岡崎純男） 市長。

○市長（平山耕三） 私のほうで把握しておりますのは、昨年市長に就任した後、昨年中に一度イオンの方がお見えになって、イオンを建設するように予定どおり進んでいるという報告は受けたところでございます。その後、昨年からいいますともうかなり時間がたちまして、その後私のほうにはイオンのほうからは何の報告もなされていないのが実情でございます。ですので、確かに以前そういったイオンの計画があつて市道がどのようなになるかという、そのイオンの出店によって今の南国市の市道の計画がその中でどのように取り扱われるかという兼ね合いというのはあつたと思います。今どのような状況になっているか、改めてイオンのほうに確認をしないと答えすることができませんので、またイオンの方と会う日を設定するようになっておりますので、そこでお会いしてお話を伺いたいと思っております。以上でございます。

○議長（岡崎純男） 西岡議員。

○20番（西岡照夫） 市長から、現在、計画はあるがまだ具体的な話が進んでないということで、イオンの関係者とお会いを早急にしたいということでございますが、この議会前にイオンの関係者がこちらにお見えになって御相談をされたということはありませんか。

○議長（岡崎純男） 市長。

○市長（平山耕三） 私にお話はありません。以上でございます。

○議長（岡崎純男） 西岡議員。

○20番（西岡照夫） ちょっと私のほうには、この議会前に1回イオンの方が市役所に出向いて現状をお話をされるというふうなことをお聞きをしておりますが、誰も執行部の方、特に商工とか企画、そういったところでお聞きをしたことはないですか。

○議長（岡崎純男） 答弁を求めます。商工観光課長。

○商工観光課長（長野洋高） 商工観光課のほうへもお話はきておりません。

○議長（岡崎純男） 西岡議員。

○20番（西岡照夫） それでは、私のほうの情報は誤りだつたと思いますが、このことについては、イオンの関係者からお話があるという以前に、南国市としてどういう立ち位置でこのことに向かい合うのか、そのことも大事だと思います。先ほども言いましたように、この市道

についてもそういった関係でおくれておるとい状況でもございますので、当時は最初の計画がイオンの出店によって北側へ道路をつけるという話でそれぞれ地権者とも話が進んでいったようにお聞きをしておりますので、そのことでおくれておれば、やはり市としても早急にこれを解決をして、明確に当初計画をされた路線をしっかりと完成をさすように全力を挙げていただきたいというふうに思います。

そこで次に、②の大篠、中央公民館と文化施設合築への影響についてはどうなのかと。道路ができなくても計画どおり進められるのか。今議会の市政報告には、中央公民館、大篠公民館改築につきましては本年度は基本設計、実施設計のほか地質調査及び用地測量を予定しております。財源として、社会資本整備総合交付金が要望額に達し約95%の内示がありました。設計に当たりましては、幅広く御意見をいただきながら進めてまいりたいと考えております、とありましたので、お伺いをいたします。この道路が整備をされなくても、計画は進めていかれるのかどうかお尋ねをいたします。

○議長（岡崎純男） 建設課長。

○建設課長（西川博由） お答えします。中央公民館の建築に係る接道につきましては、市道稲吉篠原線を建築基準法の接道として本年度指定を受ける予定であります。この指定を受けますと、道路が完成をしていなくても接道として公民館の工事が行えるということでございます。

○議長（岡崎純男） 西岡議員。

○20番（西岡照夫） 先ほど、建設課長の答弁では、道路が完成していなくても計画が進めていけるということですが、この道路の法線がはっきりしないと建物を建てる位置、そういったことにも影響をすと思ひます。特に、大篠公民館、中央公民館、たくさんの利用者がある施設でございますので、これを改築をして進めていくということになれば当然、道路の入ってくる法線によってどういう建築の進め方をするのか、そういったことが大事になってくると思ひますので、そのことについてお聞かせください。

○議長（岡崎純男） 建設課長。

○建設課長（西川博由） 現在、法線の見直しは4月に発注をかけて夏までには計画が仕上がります。その後、地元への説明をして、それでオーケーということになりますと、用地及び補償物件の確定をした後、交渉に入っていくという段取りでございます。

○議長（岡崎純男） 西岡議員。

○20番（西岡照夫） 順次4月から進めていくという話でございましたが、現在もその予定で進んでおりますか。

○議長（岡崎純男） 建設課長。

○建設課長（西川博由） 現在、夏場までには法線は確定するようになっております。それで、補償物件につきましては補償費の予算も一部組んでおりますので、当年度中やれるだけなるべく進めていきたいと考えております。

○議長（岡崎純男） 西岡議員。

○20番（西岡照夫） それでは、そういうことでしっかり前へ進めていただきたいと思いますと思いますが、生涯学習課長にお伺いをいたします。

この大篠公民館、中央公民館合築ということでございますが、今回の、先ほども読み上げました市政報告の中に、文化施設という項目が含まれておりません。文化施設は断念をされたのでしょうか。そのことについてお伺いをいたします。

○議長（岡崎純男） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（中村俊一） 中央公民館と大篠公民館の改築につきましては、かねてから申し上げておりましたように、中央地域交流センター、仮称でございますが、として合築し、文化的行事も行える多目的施設として整備するものでございます。市政報告の中、言葉が足らず申しわけございません。以上です。

○議長（岡崎純男） 西岡議員。

○20番（西岡照夫） それで、安心をいたしました。以前の市政報告にはそういったことも載っておったと記憶をしておりますので、それが今回載せてなかったということで少し心配をしておりましたが、安心をしました。

そこで、少し市長にお願いでございますが、さきに私ども教育民生の常任委員会が山形県南陽市、それから茨城県取手市へ視察に行かせていただきました。その折に、すばらしい施設を見せていただきました。南国市に取り入れるべき内容だったと思っておりますので、先ほども岩松議員のほうからもCLTをというお話もございました。高知県で力を入れて進めておりますCLTを活用したそういった複合施設を、ぜひ南国市の顔として進めていかれるお考えはないのかお聞きをいたします。

○議長（岡崎純男） 市長。

○市長（平山耕三） できれば、高知県でCLT推進している施策でございますので、そういったことを組み込むことが可能であるかどうか、そういったことも検討の中にはもちろん含める必要があると思います。そのあいで、考えていくべきと思っております。以上でございます。

○議長（岡崎純男） 西岡議員。

○20番（西岡照夫） ありがとうございます。ぜひその方向で進めていただきたいと思いますし、また検討委員会の中でも十分話し合いをしながら進めるようお願いをしていきたいと思いをします。

最後に、生涯学習課長にお尋ねをいたします。

このたびの視察にも同行いただきましたので、文化施設について、多目的ホールとしての利用価値のあるいわゆる可動席の整備について、どのようにお考えになっておられるのかお聞きをいたします。

○議長（岡崎純男） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（中村俊一） いわゆるホール部分についてでございますが、用途地域の関係もございまして、なるだけ専用の文化会館もできるものではないので多目的施設としておるところでございますが、県の建築指導課とお話しした際には、その多目的施設の中の一室であっても固定席じゃなくて可動席のほうが多目的施設として望ましいというような御意見もいただいております。今回の視察の中に、可動席のホールを含む行き先を2カ所構えていただきましたことに感謝を申し上げます。取手市では、撤去した後、舞台も沈んで、かなり広い展示スペースであったり、また立食パーティーなんかもするというのを教えていただきました。フラットなスペース、フローリングかどうかによりましては、軽スポーツとかもちろん展示ギャラリーにすることもできます。ランニングコストは高くつくかもしれませんが、稼働率としては上がりましてお使いの方の利便性の向上につながるものと思っておりますので、そういったことも見習いながら今後設計の際の考慮にしていきたいと思っております。以上です。

○議長（岡崎純男） 西岡議員。

○20番（西岡照夫） ありがとうございます。少し道路の見通しから外れましたが関連がございまして、道路のできる法線によって位置関係、建物全体のあれも影響してきますので、そういったことも含めてぜひよろしくをお願いをしたいと思います。

それでは、2点目でございます。

（株）海洋堂とまちづくりセンター整備についてをお伺いいたします。

都市計画道路高知南国線第3工区については、平成29年度に事業認可を受け道路詳細設計及び用地測量も完了したとのことで、今後は地権者の移転計画などを考慮しながら用地交渉を進めると市政報告にありました。また、都市計画道路やコミュニティーセンターの整備にあわせ「ひと」の流れをつくり新たなまちづくりを図っていく。南国市商工会が取り組む地域商業自立促進事業を支援し商店街への企業誘致を行い、民間企業や大学の協力を得ながら商店主や地

域住民などの関係者を巻き込んだ取り組みに発展させ、(株)海洋堂との連携した(仮)南国市まちづくりサポートセンターを拠点に商店街の活性化を図る、と南国市まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成30年度版)に記されています。そこでお伺いをいたします。(株)海洋堂とまちおこしセンター整備はどのように進められるのか、①具体的な内容についてお聞かせください。

○議長(岡崎純男) 商工観光課長。

○商工観光課長(長野洋高) まちおこしセンター、仮称ものづくりサポートセンターにつきましては、株式会社海洋堂と連携しながら、ものづくりを通じて本市を活性化するための拠点施設として整備を行うもので、外観につきましては、周辺の住環境との調和に配慮をしつつ新しいランドマークとなるような特徴あるものとしたいと考えております。

施設内容は、海洋堂の生産現場を来場者に見学してもらうスペース、海洋堂や市内事業者などの製品等の展示スペースやここでしか買えない限定商品や本市の特徴ある商品の販売スペース、さまざまなものづくり体験を行える多目的工房やデジタル工房、ものづくりによる起業を目指す方、専用のものでものづくりの場が必要な方などが専門家の指導を受けながら創作活動を行えるレンタルスペース、専門性の高い企画やイベント、ワークショップ等を実施するためのスペースなどを設けることを考えております。この施設で本物のものづくり現場を見、ものづくり体験することでの、ものづくりを志す子供たちや高度なものづくり人材の育成、地域との連携による活性化イベント等の開催など地域の活性化、製造業者同士、先端産業と伝統産業などの連携による商品開発などのコーディネート、限定商品等の展示販売や体験による観光誘客などにつなげていきたいと考えております。以上です。

○議長(岡崎純男) 西岡議員。

○20番(西岡照夫) 商工観光課長から詳しく御説明をいただきました。ありがとうございました。

その計画を進める上で、②の南国市商工会駐車場南側の用地の確保が大切になると思いますが、以前からこのことについては質問もさせていただいた経緯もございますし、現在この用地確保についてどのようになっておられるのか、お伺いをいたします。

○議長(岡崎純男) 商工観光課長。

○商工観光課長(長野洋高) 当該用地につきましては、取得につき地権者と話をしております。都市計画道路高知南国線第3工区の整備と整合性をとりながら進めていく必要があります、引き続き用地取得に向けて取り組んでまいりたいと思います。

○議長（岡崎純男） 西岡議員。

○20番（西岡照夫） この用地取得は、先ほどの計画の完成に向けて非常に大事な土地でもございますので、しっかり確保していただいで進めていただきたいと思います。なお、③についてですが、完成はいつになると見通されておりますか。

○議長（岡崎純男） 商工観光課長。

○商工観光課長（長野洋高） 仮称ものづくりサポートセンターの整備については、後免消防屯所の移転、県道南国野市線の拡幅、都市計画道路高知南国線第3工区の整備など周辺の他の事業との関係があり、スケジュールが変わってくる可能性はあるかと思いますが、現在のところ平成32年夏ごろのオープンを目指して取り組んでおります。以上でございます。

○議長（岡崎純男） 西岡議員。

○20番（西岡照夫） ありがとうございます。一応、完成見通しもお示しをいただきました。できるだけ早い時期に完成をさしていただいで、南国市のまちづくり、地域活性化に寄与するように全力を挙げていただきたいと思います。

次に、3つ目でございます。

都市計画道路南国駅前線についてであります。

①といたしまして、南国市のシンボルロードとして整備についてをお伺いいたします。

南国駅前線第1工区は供用開始されているが、第2工区の道路築造事業の進捗状況については本年3月末現在において用地面積全体の54%に当たる4,230平方メートルの用地を取得したと市政報告にありましたが、JR後免駅までの完成はいつになるのか、また駅前広場はどのように考えているのかお伺いいたします。

○議長（岡崎純男） 都市整備課長。

○都市整備課長（若枝 実） 南国駅前線第2工区の進捗状況は、本年3月末時点におきまして、先ほど西岡議員が言われましたとおりでございますけれども、本年6月15日現在におきましては、用地交渉が進みまして現在63.2%に当たる4,972平方メートルの用地を取得してございます。南国駅前線は、進捗状況のおくれから本年3月に事業認可期間の延長とJR後免駅前広場の整備を追加する事業認可の変更を行いました。JR後免駅前広場の整備を含めまして、遅くとも平成34年度中の整備完了を行いたいというふうに考えております。

それから、JR後免駅前広場の整備内容でございますけれども、本年度から詳細設計に着手いたしておりますが、駅前広場の具体的な整備内容につきましてはまだ決まってない状況でございます。現在の後免駅前には、バスやタクシー、送迎車が乗り入れるスペースが十分に確保さ

れていない上、大型バスの乗り入れが困難であるなど多くの課題がございます。こうした課題に対応するため、ロータリーの設置や大型バスの乗り入れなど交通結束機能の強化を図ることはもちろんのこと、後免駅は本市の中心駅であり顔でもあることから、市民の皆様や交通事業者などさまざまな方の御意見を取り入れながら、南国市の顔にふさわしい魅力的で個性的な景観の創出が図られるような整備方針を今後検討してまいりたいというふうに考えております。以上でございます。

○議長（岡崎純男） 西岡議員。

○20番（西岡照夫） ありがとうございます。続いて、この南国駅前線、以前にも何名かの議員から質問が出ておりましたが、この駅前線は南国市の中心部を南北に縦断する主要な道路であり、先ほども課長が申されましたように市の顔となり得る道路だと思いますが、これを南国市のシンボルロードとして整備をされてはいかがかと思えます。そこで、先ほども言いました、これまでも質問も出ております無電柱化の推進をしてはどうか。地震等の災害にも強いまちづくりにもなると思えますので、このことについてお聞かせください。

○議長（岡崎純男） 都市整備課長。

○都市整備課長（若枝 実） 南国駅前線の無電柱化につきましては、近年、安全で快適な通行空間の確保、都市景観の向上、都市災害の防止、観光振興、地域活性化等の観点からその必要性が増加しているほか、南国市の顔であるJR後免駅前と整合を図った魅力ある景観形成が望まれている道路でもありますので、今後につきましては、そういった思い切ったこともすることも必要ではないかと考えておまして、無電柱化の可能性を探っていきたいというふうに考えております。以上でございます。

○議長（岡崎純男） 西岡議員。

○20番（西岡照夫） ありがとうございます。費用はかかるとは思いますが、やはり南国市の顔としてのいわゆるモデルケース的に無電柱化をぜひ進めていただきたいと思えます。

2つ目は、道路の両側の歩道がかなり広く整備をされるとお聞きをしておりますので、この歩道を利用して、現在後免の商店街にありますやなせたかし先生のアンパンマンのキャラクター、そういったものや先ほども話が出ました海洋堂のフィギュアなどを設置をして、夢のあるシンボルロードとして全国に発信のできる、そういった道路計画を進めていかれるお考えはないでしょうか。これを、お聞きをいたします。

○議長（岡崎純男） 都市整備課長。

○都市整備課長（若枝 実） 西岡議員さんの御提案のアンパンマンのキャラクターや海洋堂

のフィギュアのオブジェ等を設置することも、シンボルロードとして全国に発信できる方法の一つであると考えております。そのほかにも、良好な道路空間の演出や魅力ある歩道空間を創出するための街灯、ベンチ、水飲み場、案内板などのストリートファニチャーの設置や舗装のデザイン化なども含めまして、全国に発信できる南国市の顔にふさわしい魅力的で個性的な景観の創出が図られるよう整備方針を検討してまいりたいと考えております。以上でございます。

○議長（岡崎純男） 西岡議員。

○20番（西岡照夫） ありがとうございます。大変心強いお答えをいただきましたので、ぜひそのように進めていただきたいと思います。

そこで、最後になりますが、このシンボルロードの名称については広く市民から公募を募って、特にまた小学生、中学生、高校生そういった若い方の御意見も公募して、本当に南国市の顔としてシンボルとして全国に発信できる、そういったロードにさせていただけるように、ぜひ公募をしてはどうかということをお聞きをして終わりたいと思います。よろしくお願いします。

○議長（岡崎純男） 都市整備課長。

○都市整備課長（若枝 実） シンボルロードの名称等につきましては、多くの市民の皆様から募集も行ってみたいというふうに考えております。以上でございます。

○議長（岡崎純男） 西岡議員。

○20番（西岡照夫） ありがとうございます。

以上で私の質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○議長（岡崎純男） 以上で通告による一般質問は終了いたしました。

これにて一般質問を終結いたします。

明6月20日の議事日程は、議案等の審議であります。開議時刻は午前10時、本日はこれにて散会いたします。

御苦労さまでした。

午前11時32分 散会